

令和6年度 指定管理施設の管理運営に関する月次評価について

施設所管課名：教育総務部生涯学習課

1 施設概要

施設名称	横須賀市生涯学習センター
指定管理者名	公益財団法人横須賀市生涯学習財団
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）

2 月次評価

評価月	評価
4月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 ・令和6年度継続雇用予定パート職員1名が退職したため、4月17日に後任の職員を採用した。 。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・4月25日の休館日に施設メンテナンスを実施し、独自に研修会を行うなど、施設保全と職員資質の向上に努めていると認める。 ・ウェルシティー時預かり保育室避難訓練に職員が参加した。ウェルシティーは複合施設であり、ウェルシティー全体での対応が重要となる。非常時の対応に配慮していることを認める。 ・市予算で4月25日に美術工芸室及びパソコン研修室のロールカーテン、ブラインドの交換修繕を実施した。 ・ウェルシティー市民プラザ空調設備の冷房切替作業が行われた（4月26日）。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・市民大学「さきがけ講座」全8講座を実施した。受講者の14%が新規受講者である。さきがけ講座の開始前の時間にコマーシャル動画を流すなど、前期講座の応募促進につながるよう積極的にPRを行った。

	・4月24日に市民大学前期講座の募集締切った。応募総数は2,300件を超え、昨年度より200件以上多い応募を得た。定員未達の講座は引き続き追加募集を行っている。また、定員を超過した講座は定員を増員して対応するなど、受講者への配慮も行っている。 ・令和4年度、5年度に引き続き、今年度も多くの応募をいただいているが、様々な工夫や努力の積み重ねの結果、多くの市民に関心を引くことにつながっていると評価したい。 【指定管理事業(情報提供・学習相談事業)】 ・情報収集提供事業は滞りなく進められている。 ・「まなびかんニュース」5月号を発行した(10,000部)。 ・「Yokosuka まなび情報」登録講師・サークルの最新の登録情報を配布用小冊子として発信・提供する「Yokosuka まなび情報ミニ瓦版」を4月に作成・配架した。 ・2024年3月31日までに登録完了しているサークル352件、講師192人に対し、Yokosuka まなび情報の登録更新を案内し、併せて生涯学習センターが行う広報面での支援内容なども案内した。 ・生涯学習センター内展示スペースを利用して、沢山小、逸見小の三浦按針児童感想文を展示した(3月1日～4月12日)。また、5階ロビーで令和5年度市民大学特別講座「新しい孫育て他孫育て」アンケート調査結果の成果物を展示している(4月12日～6月14日)。地域とのつながりを深めたり、生涯学習センターとその利用者の学習活動を広く知っていただくために、展示可能なスペースの有効利用は継続をお願いしたい。 【指定管理事業(学習成果地域活用事業)】 ・4月10日から、地域で活動する市民の養成講座として「千代ヶ崎砲台跡活用ボランティア養成講座」の募集を開始した。 ・生涯学習センター職員とともに、市民が自身で受けてみたいと思う市民大学講座を企画・運営するという内容の講座を令和4年度、5年度に引き続き実施する。コミュニティセンターとの連携も視野に入れ、職員研修や職員同士の交流の場も兼ねることを考えている。 ・自ら行動する「ひとづくり」の点からも重要な講座であるため、今後も継続をお願いしたい。千代ヶ崎砲台跡活用ボランティアは、養成講座を経て活動を継続しており、学んだことを生かしながら来場者に解説を行い、より良い解説ができるようにさらに学び、研鑽を積んで活動をするという、学びと学んだ成果を活用した活動の循環に結び付く形が出来てきていると考える。
--	--

	・コミュニティセンターが田浦、衣笠、久里浜の3館を中心とする拠点館制に変わったこともあり、3館合計6人の職員ですべてのコミュニティセンターの講座企画・運営をカバーすることになった。実際に市民とともに講座を作り上げる場にコミュニティセンター職員も参加する機会があれば研修・交流の場としても有効であるため、今後に期待する。また、コミュニティセンター以外に生涯学習課職員等の参加も可能であればさらに効果的と考える。 【その他の事業】 ・文化生涯学習事業助成申請の受付を開始した（4月1日～）。 ・組曲「横須賀」演奏会を開催した（文化振興課委託事業 4月14日） 【特記事項その他】 ・チャリティークラシックコンサートに職員が参加した（4月20日）。 ・逸見地区地域運営協議会へ参加した（4月23日）。 ・市で行っている「いじめ反対」ピンクシャツデー運動に賛同し、ピンクシャツデーを実施した（4月24日） 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
5月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・神奈川県公民館連絡協議会主催の公民館館長等職員研修に職員が参加し、業務に関する資質向上に努めている。 ・令和6年5月21日付け横須賀市総務部長・健康部長連名で発出「今後の新型コロナウイルス感染症対策について」の方針を受けて、5月23日（木）よりパーテーションやカーテン等感染防止対策を解除した。 ・市「オフィススッキリ」に併せ、保存期間満了の廃棄文書を搬出した。

	【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・5月13日に予定していたさがけ講座「横須賀市を中心とした東京湾要塞の歴史」第2回のクルーズによるフィールドワークが荒天で中止となり、7月26日に再実施とした。 ・5月中に、前期講座全23講座のうち14講座を開講した。 ・夏期特別講座及び小学生対象のジュニアカレッジの企画を進めている。市内の高等教育機関や高等学校、団体、地域人材等の地域資源を積極的に活用して検討を行っている。昨期の社会教育委員会議の提言でも、横須賀市の市民大学なので、横須賀ならではの横須賀らしさの特徴を求めているため、このような方針は継続してほしい。 ・市内の様々な施設や団体との連携講座を企画している。連携先の得意分野や専門性等をうまく活用し、特色のある講座を組み立てていると認める。また、受講者が参加して楽しむと同時に郷土や社会的な課題に対する意識を持つきっかけとなるような工夫をしていると認める。 【指定管理事業(情報提供・学習相談事業)】 ・情報提供・学習相談事業は滞りなく進められている。 ・Yokosuka まなび情報の登録更新受付を5月24日に締切り、更新作業を行っている。 ・まなびかんニュース6月号を発行した(10,000部)。 ・まなびかん5階展示スペースで、先月から引き続き、令和5年度の市民大学講座「新しい孫育て他孫育て」の学習成果物の展示を行っている。 【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・地域で活躍する市民の養成講座として、3期目となる「千代ヶ崎砲台跡活用ボランティア養成講座」を当課と共催で開始した(5月25日～7月7日 全4回)。この講座の修了生は、千代ヶ崎砲台跡で学習成果を活用し、実際にボランティアガイドとして活用する。 ・一昨年度の「受けたい講座をみんなで作ろう」から継続して参加している市民大学企画運営ボランティアと職員との共同企画ミーティングを実施した。学習成果を地域で活用できる人材の養成と、そのような方々を結び付け、市民自らが市民大学講座を企画し、講座という形で学びの成果を活用する。今年度からコミュニティセンターを会場に「市民大学出前講座」を開催予定ということもあり、コミュニティセンター主任指導員にも参加を呼びかけ
--	---

	た。 ・市民が学習成果を活用した活動を開始し、継続していくには、実際に活動できる場につなげたり、同じ方向性の仲間がいたり、社会教育施設やその職員とのつながりを作ることも大切な要素であるため、上記のような事業は今後とも継続していただきたい。また、市民と共同で講座を企画することにより、施設や職員側でも生の市民ニーズに触れることができると考える。 【その他の事業】 ・久里浜医療センターとの地域連携として、入院患者に向けて退院後の生活に学習活動を取り入れるための講義を実施した（5月23日）。 ・春季市民文化祭を開催した（5月24日から28日 文化振興課委託事業）。 【特記事項その他】 ・全市立学校・教育委員会合同防災訓練に参加した。災害時の教育委員会との連絡体制を検証し、万一の際の対応に配慮していることを認める（5月1日）。 ・令和5年度決算監査を行った（5月22日）。適正な予算及び事業執行のための対応に努めていることを認める。 ・（公財）横須賀市生涯学習財団業務監査チェックシートにより、令和5年度事業及び決算について内部監査を行った（5月29日）。 ・横須賀市地域支援部長、地域コミュニティ支援課職員、コミュニティセンター企画担当職員、生涯学習センター職員での情報交換を行った（5月17日）。生涯学習センターとコミュニティセンターは、社会教育施設としての類似点も多く、相互に補完しあうことでより大きな効果を生み出すことが期待できるため、今後も引き続き交流を深めていただきたい。 ・市民活動サポートセンター、生涯学習センター、よこすかボランティアセンター、シルバー人材センターの4施設会議に職員が参加した（5月21日）。 ・逸見地区地域運営協議会会議へ職員が出席した（5月28日）。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
6月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。

	【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 ・センター休館日に独自に研修会を行うなど、職員の資質向上に努めている。 ・神奈川県公民館連絡協議会・県立図書館主催の生涯学習指導者研修「社会教育担当者コース」に職員が参加した（オンライン参加）。業務に関する専門的な知識を習得し、職員資質の向上に努めていると認める。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・臨時休館日に、施設のメンテナンス及び備品の確認を行った。市民が利用しやすい環境を整えているものと認める。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・6月中に前期講座9講座が開講し、全23講座が開講した。 ・「よこすかジュニアカレッジ」の募集を6月14日から開始した。 ・夏期特別講座の募集を6月25日から開始した。 ・今年度も市民大学講座は多くの受講者を集めている。地元の高等教育機関や横須賀ゆかりの人材をうまく活用し、横須賀色を出しながら、講座で扱う内容も教養的な内容から現代的課題に対応するものまでバランスよく整えている。このように多くの方にアピールできる内容を準備するのは簡単ではないが、引き続き様々な工夫を重ねていただきたい。また、継続して結果を出し続けていることを評価したい。 【指定管理事業（情報提供・学習相談事業）】 ・情報提供・学習相談事業は滞りなく進められている。 ・Yokosuka まなび情報 2024 年度への登録更新を完了し、まなびかんニュースに記事を掲載した。まなびかんニュース以外にも機会をとらえ、Yokosuka まなび情報の存在とサークル、講師登録の仕組みの周知をお願いしたい。 ・まなびかんニュース7月号を発行した（10,000部）。 ・館内の展示スペースで、令和5年度市民大学特別講座「新しい孫育て 他孫育て」のアンケート調査の成果物を先月から引き続き6月14日まで展示。 【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・学習成果地域活用事業は滞りなく進められている。
--	---

	・地域で活躍する市民の養成講座の「千代ヶ崎砲台跡活用ボランティア養成講座」の第2回（6月8日 講義）、第3回（6月22日（現地見学・実習）を実施した。 ・令和4年度の「受けたい講座をみんなで作ろう」の参加経験者等からなる講座企画・運営を行う市民ボランティアに指定管理者職員、市職員も加わり、市民大学の課題対応講座1講座及び教養講座1講座、北下浦コミュニティセンターの講座1講座を企画している。市民ボランティアのメンバーの入れ替わりもあるが、学習成果を活用しながら継続して活動している。 ・千代ヶ崎砲台跡活用ボランティアは、昨年度以前の講座修了者が実際に現地での活動を続けている。最近、メディア等で千代ヶ崎砲台跡が取り上げられる機会が増え、来場者が増えているが、ボランティアが案内と解説を行い対応している。ボランティアが学んだ成果が生かされる場であり、来場者の反応という刺激により、さらに自らの学びを深めていこうという意欲を生み、良い循環が生じている。このような場に市民をつないでいくきっかけとなる講座であるため、引き続き対応をお願いしたい。 ・講座企画・運営を行う市民ボランティアは、振り返り続けながら、次に行いたい講座をミーティングを重ねて作り出している。今までの経験を生かし、自主的、積極的に活動しており、このような方々が少しずつでも増えていくことが生涯学習の推進に必要であり、また、活躍の場も併せて必要である。生涯学習センターで行っている上記講座や活動は、「ひとづくり」とともに千代ヶ崎砲台跡や講座という実際に学びの成果を生かせる場も持っている貴重なものであるため、手間も時間もかかるが、今後も継続をお願いしたい。 【その他の事業】 ・「和菓子作り体験教室」を開催した（6月2日、23日）。 ・「パソコン入門教室」超入門教室を開催した（6月10日～12日）。 ・第47回市民音楽のつどいを実施した（6月9日 文化振興課受託事業）。 【特記事項】 ・第1回理事会を開催した（6月4日）。 ・定時評議員会を開催した（6月25日）。 ・第2回理事会を開催した（6月25日 書面による決議）。 ・逸見地区地域運営協議会 事務局会議へ参加した（6月25日）。 ・市で行っている「いじめ反対」ピンクシャツデー運動にあわせ、ピンクシャツデーを実施した（6月26日）。
--	--

	・大、第1、第2、第3、パソコン研修室、ミーティングルーム利用者向けにWi-Fi 接続サービスを開始した（6月1日）。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
7月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 ・神奈川県立図書館主催の「生涯学習指導者研修」に職員が参加した。職員の資質向上に努めていると認める。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・今年度も夏休み期間に、当日利用のない学習室を自習室として開放する。期間は7月22日（月）から8月27日（火）まで。施設の有効活用に資すると認める。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・前期講座のうち、7月中に3講座が全プログラムを終了し閉講した。 ・7月15日に小学生を対象とした「よこすかジュニアカレッジ」（4講座）の募集を締め切った。4講座中3講座を7月中に開催し、昨年度の市立横須賀総合高校、私立三浦学苑高校に加え県立海洋科学高校の協力も得て講座を行う。講師を高校生が務め、受講者の小学生との間での相互学習効果を見込んでいる。教える側の高校生へのアンケートでは多くの気づきがあったとうかがわれる内容とのことであり、意図したとおりの効果があったと考えられる。昨年度より協力校を増やしており、若い世代への取り組みを意欲的に行っていることを評価したい。 ・5月に荒天で中止になった「横須賀市を中心とした東京湾要塞の歴史」の第2回のフィールドワーク（クルーズ）を7月26日に実施した。受講者1名が熱中症の疑いで救急搬送されたが、医師の診断では特に支障はないとの

	ことであった。対応が迅速かつ的確であったことを認める。年々夏場の猛暑が厳しくなっているため、野外活動を伴う講座等は受講者の安全に留意をお願いしたい。 ・夏期特別講座の募集を8月1日に締め切った。定員を超える応募があった講座については定員を増員して対応し、できるだけ多くの方を受け入れる努力を行っていることを認める。 ・前期講座の「韓国文化」の受講者を、一般募集前に優先的に後期講座の「韓国語」の講座に申し込めるようにし、継続学習を促すようにしたところ、多くの継続受講者を集めた。さきがけ、前期、後期と次々に継続学習につながるように、現行の講座で次期講座の案内を行ったり、現行の講座と次期講座の内容を関連付けて引き続き受講につなげるなど、昨年度から継続学習につながるような工夫が多くみられ、効果的な取り組みとなっていると考える。 【指定管理事業(情報提供・学習相談事業)】 ・情報収集提供事業は滞りなく進められている。 ・Yokosuka まなび情報 2024 年度瓦版を発行し、行政センターやコミュニティセンターを訪問し、まなび情報の周知と配架協力の依頼を行った。併せてまなびかんの宣伝のため、コミュニティセンターの文化祭日程の確認と展示等の協力を依頼した。双方の施設にメリットがあるようコミュニティセンターとの協力関係を維持していただきたい。 ・まなびかんニュース8月号を発行した。 ・千代ヶ崎砲台跡活用ボランティア養成講座の成果報告展示を、7月23日から5階ロビーで行っている(9月17日まで)。生涯学習センターの事業でもあり、市民ボランティアとして活動していくきっかけとなるものでもあるため、生涯学習センターでどのようなことを行い、どのような効果があるかを目に見える形で示すことができる機会として、積極的に活動内容を周知してほしい。 【指定管理事業(学習成果地域活用事業)】 ・学習成果地域活用事業は滞りなく進められている。 ・千代ヶ崎砲台跡活用ボランティア養成講座のガイド実習と効果測定を最終回の7月7日に行い、21名が修了した。修了者には実際に現地で活動している千代ヶ崎砲台跡活用サポーターの会の案内を送付予定である。 ・市民大学企画運営ボランティアと財団職員での第3回共同企画ミーティングを実施した。また、北下浦コミュニティセンターの講座についてコミュニティセンターを訪問して扱う内容等の打ち合わせを行った。
--	---

	・上記のように千代ヶ崎砲台跡活用に関する活動を行う場、市民大学講座の企画運営と実際にボランティアが活動できる場があるのは貴重と考える。自身が学んだ成果を生かす場が見つからない、探すのが難しいということで活動できないケースは多いと思われるため、今後、活動する場も紹介することができる機会が増えてほしいと考える。 【その他の事業】 ・人権啓発講座「子どもと人権」を実施した（生涯学習課共催事業 7月2日、3日、11日の全3回） ・「パソコン入門教室」ステップアップコースを実施した（7月8日～11日）。 ・秋季市民文化祭（文化振興課委託事業）の「三浦半島演劇祭ワークショップ」を開催（7月20日、21日）し、公募部門作品「短歌・俳句・川柳」、市民将棋大会、市民民謡のつどいの作品及び参加者の募集を開始した。 【特記事項その他】 ・逸見地区地域運営協議会に職員が出席した（7月30日）。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
--	---

8月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 ・センター休館日に独自に研修会を行うなど、職員の資質向上に努めていることを認める。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・臨時休館日に、施設のメンテナンス及び備品の確認を行った。市民が利用しやすい環境を整えているものと認める。 ・学校の長期休暇に合わせて、当日利用のない学習室を7月22日から8月27日の期間開放した（開放期間36日、利用人数772人）。 ・ウェルシティー時預かり保育室避難訓練に職員が参加した。近年、地震や豪雨に関連した様々な災害が多発し、ウェルシティー全体での対応も考える必要があるため、日常業務を通じて気づいた点があれば、当課やウェルシティー施設管理所管課に随時ご教示いただきたい。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・予定した「よこすかジュニアカレッジ」4講座全てを実施した。受講者である小学生、講師役の高校生のアンケートではよい経験ができたとの回答があり、保護者へのアンケートでは、学校教育以外の場で体験学習ができることを評価いただく内容があった。講座自体を体験学習を重視したものとし、併せて講師役の高校生と受講者の小学生との間での相互学習効果を狙うなど、意欲的な企画と評価したい。 ・夏期特別講座全8講座のうち5講座を実施した。また、夏期講座の開始前や休憩時間を利用して、8月21日から募集を開始した後期講座についてのコマーシャルスライドを投影し、募集要領を配布して応募促進に努めた。 ・横須賀市と「健康づくりに係る包括連携に関する協定」を結んでいる明治安田生命保険相互会社と、福祉総務課の仲介により、市民大学等で連携講座等ができるか検討を開始した。新たな教育資源を開拓しようとする姿勢を評価したい。また、本市は企業等と様々な包括連携協定を締結しているため、今後も活用できる教育資源の一つとして研究をお願いしたい。
----	--

	【指定管理事業(情報提供・学習相談事業)】 ・情報収集提供事業は滞りなく進められている。 ・登録更新後、最初の「Yokosuka まなび情報ミニ瓦版」を発行した。市内の小、中、高校（私立学校を含む）の学校長と PTA にも送付した。 ・まなびかんニュース 9 月号（10,500 部）を発行した。 ・千代ヶ崎砲台跡活用ボランティア養成講座の成果報告展示を、7 月 23 日から 5 階ロビーで行っている（9 月 17 日まで）。また、ホームページにも事業実績を掲載した。生涯学習センターの活動の様子が分かるものであるため、今後も継続をお願いしたい。 【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・学習成果地域活用事業は滞りなく進められている。 ・講座企画市民ボランティアと生涯学習センター職員、市職員の講座共同企画・運営ミーティングを行った。北下浦コミセンでの講座は北下浦地区に伝わる虎踊りと飴屋踊りという民俗学をテーマに、市民大学の課題講座は高齢者の発達をテーマに進めることとした。また、そのほかに教養講座を 1 講座予定している。令和 4 年度の「受けたい講座をみんなで作ろう」から始まり、市民ボランティアが関わる講座の企画・運営活動は 3 年目になった。学びの成果を生かしながら、地域で活躍できる人が育ってきていると考える。成果を数字で表すことが難しい部分であるが、社会教育で大切にしている人づくりに関する部分であるため、今後も継続をお願いしたい。 【その他の事業】 ・人権啓発講座「夏休み！子ども映画会（若おかみは小学生!）」を実施した。（生涯学習課共催事業） ・令和 6 年度文化及び生涯学習事業助成審査委員会を開催し、11 件の助成を決定した。 【特記事項その他】 ・市で行っている「いじめ反対」ピンクシャツデー運動に賛同し、当日はピンク色のものを職員が身に着け、運動に参加した。（8 月 28 日） ・地域連携として、久里浜医療センターにて、入院患者が退院後の生活に学習活動を取り入れたための講義をおこなった。依存症患者は退院後に打ち込めることがないと、再び依存に陥ってしまうこともあるため、その予防策の一つとして生活に学習活動を取り入れることを勧めている。ここ数年続いている活動で、有用な活動と考える。今後も継続をお願いしたい。
--	---

	・商工会議所のよこすかキャリア教育推進事業に参加し、参加企業等にまなびかん PR チラシを手渡して利用を呼び掛けた（8 月 22 日）。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
--	---

9 月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 ・受付パート職員 1 名が退職したため、後任職員 1 名を新規に採用した。 ・横須賀商工会議所主催の「業務のデジタル化による生産性向上セミナー」へ職員が参加した。業務効率化のための情報収集に努めている。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・9 月 1 日と 9 月 19 日の 2 回、近隣への落雷の影響でウェルシティ全館で停電が生じ、講座の休講、施設の利用中止が生じた。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・前期講座のうち、9 月中に 5 講座が全プログラムを終了した。 ・夏期特別講座のうち 3 講座を 9 月中に実施し、予定の 8 講座全てを実施した。また、講座開講前や休憩時間を利用して募集中の後期講座応募促進を行った。 ・タウンニュース 9 月 6 日号に後期講座の記事を有料掲載した。 ・後期講座の募集を 9 月 23 日に締め切った。25 講座中 15 講座（60％）で定員超えの応募があり、なるべく多くの方に参加していただくため、定員増などの対応をおこなった。定員未達講座は追加募集を継続している。前期講座に引き続き多くの応募があり、市民が受講したくなる講座を企画していること、現受講者への次期講座の周知やタウンニュース有料記事による講座周知などの工夫の結果が表れたものとする。 【指定管理事業（情報提供・学習相談事業）】 ・情報提供・学習相談事業は滞りなく進められている。 ・まなびかんニュース 10 月号を発行した。 ・展示スペースを利用して、千代ヶ崎砲台跡活用ボランティア養成講座の成果報告の展示（7 月 23 日から 9 月 17 日）を行い、中央図書館郷土資料室の企画展示「写真が語る平作川の風景」（9 月 19 日から 10 月 17 日）を行っている。
-----	--

	【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・学習成果地域活用事業は滞りなく進められている。 ・Yokosuka まなび情報登録サークル・講師を対象に「30 秒 PR 動画作成講座」について企画を進め、講師との打ち合わせを経て 1 月に実施を決定した。 ・市民大学講座企画運営ボランティアと職員との共同企画ミーティングを行った。来年 3 月 3 日に北下浦コミュニティセンターを会場とし、民俗芸能を取り上げた講座の実施を決定した。さらに、「高齢者の発達」に関しての講座を 3 月中旬に予定し、他にも教養講座を企画している。市民ボランティアを中心に活動を継続しており、生涯学習センター職員のサポートを受けながら、市民自らが積極的に講座テーマを検討し、企画運営を行っている。今期は北下浦コミュニティセンターへの出張講座を企画するなど、活動範囲を生涯学習センターの外にまで広げている。今後も活発な活動を期待するとともに、社会教育施設との交流も深めていっていただきたい。 【その他の事業】 ・第 54 回ウェルシティ・コンサートを開催した。 ・「まなびかんスマホ体験教室」を実施した。指定管理事業ではないが、デジタルデバイドの問題を意識した内容である。 ・「カレー料理教室」講座を実施した。 【特記事項】 ・社会教育実習生の受入れを行った（9 月 10～12 日） ・逸見地域運営協議会主催の按針フェスタ 2024 の運営に職員が協力した。 ・逸見地区地域運営協議会へ職員が参加した。 ・地域支えあい協議会に職員が参加した。 ・企業・NPO・学校パートナーシップミーティング 2024 実行委員会へ職員が参加した。 ・4 施設会議（市民活動サポートセンター、生涯学習センター、よこすかボランティアセンター、シルバー人材センター）に職員が参加した。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
--	---

10 月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 ・センター休館日に独自に研修会を行い、また、オンラインセミナーを受講するなど、資質向上と業務上の情報収集に努めていると認める。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・臨時休館日に、施設のメンテナンス及び備品の確認を行った。市民が利用しやすい環境を整えているものと認める。 ・10 月 21 日にウェルシティ市民プラザ全館の冷暖房切替え（冷房⇒暖房）が行われた。 ・新型コロナウイルス感染症対策で停止していたウェルシティ市民プラザ内トイレのハンドドライヤーの使用が再開された（10 月 17 日）。 ・教育研究所停電点検に伴い図書館システムを停止した（10 月 24 日）。 ・ウェルシティ市民プラザ内受電設備法定点検に伴い、10 月 29 日夜間から 30 日の開館前の早朝時間帯にサーバ停止等を行った。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・10 月中に前期講座のうち 8 講座の全プログラムを終了した。 ・10 月中に後期講座全 25 講座のうち 15 講座を開講した。また、定員に余裕のある講座について、希望回のみ聴講可能である「おためし受講」を行っていることを周知している。 ・後期講座の研究コース「三浦一族の歴史を体感！」は、横須賀所縁の三浦一族を採り上げ、講義での知識獲得、フィールドワークでの体験学習・記録、グループワークでの仲間づくり・相互学習を通じて三浦一族の魅力を発掘し、学習成果を「三浦一族ゆかりの地マップ」にまとめ、館内掲示により三浦一族の魅力を発信し、学習成果の活用することを意図している。10 月 15 日に講義、22 日にグループでのフィールドワークを行った。 ・「三浦一族の歴史を体感！」は、横須賀の地域資源を生かしたテーマの講座であり、社会教育で意図する多くの要素が一つの講座に意欲的に盛り込まれており、今後の展開に期待する。まだ先のことになるが、この講座の終了後も自主学習グループが発生するなどの受講者の自発的な学習活動の発展
------	--

	も併せて期待したい。 【指定管理事業（情報提供・学習相談事業）】 ・情報提供・学習相談事業は滞りなく進められている。 ・まなびかんニュース 11 月号（10,500 部）を発行、配布した。 ・追浜コミュニティセンター文化祭（10 月 12 日～14 日）、浦賀コミュニティセンター文化祭（10 月 25 日～27 日）にあわせ、職員による出張学習相談（追浜）、まなびかん周知のパネル展示（追浜、浦賀）を実施し、まなびかんとその活動について情報発信を行った。 ・館内の展示スペースを利用して次の 2 つの展示を行った。 ①「写真が語る平作川の風景」（企画展示 9 月 19 日～10 月 17 日） ②「愛するペットを描こう！」（ABC プラン C デビュー講座から発足のサークル「リアル色鉛筆教室」の活動成果物展示 10 月 19 日～12 月 21 日）。 【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・学習成果地域活用事業は滞りなく進められている。 ・市民大学企画運営ボランティアと今期の企画講座に関する第 6 回（10 月 21 日）のミーティングを実施した。今期は単発の 3 講座を予定し、2 講座（はつらつシニアの発達心理学、三浦按針）は会場をまなびかん、1 講座（北下浦の民俗芸能）は北下浦コミュニティセンターとした出張講座となる。 ・上記講座はボランティアが意見を出し合い、教養から課題対応まで幅広い分野を企画している。また、今期はコミュニティセンターを会場とする講座もあるため、ボランティアにとってはまなびかん以外の会場や施設職員の様子なども知ることができ、コミュニティセンターでは他者による講座の企画運営の方法等を見て、自身の方法との比較対照ができるという相互メリットが生じる。ボランティアと社会教育施設との交流は今後の活動にプラスになるため、まなびかん以外の施設を会場としたり、施設職員との交流について、今後も引き続きこのような試みをお願いしたい。 ・Yokosuka まなび情報登録サークルや講師対象のスキルアップ講座で、オンライン広報用に活動内容を短い動画にする「30 秒 PR 動画作成講座」募集を開始した（全 3 回）。 【その他の事業】 ・「横須賀市を知る講座」を実施した（10 月 12 日）。 ・秋季市民文化祭を開催した。 【特記事項その他】
--	---

	・令和6年度上半期業務の内部監査を実施した（10月16日）。 ・赤い羽根共同募金箱を設置した（10月1日から12月中旬まで）。 ・逸見地区地域運営協議会へ職員が出席した（10月22日）。 ・市の「ピンクシャツデー」に賛同し、職員が「いじめ反対」の意思表示を表すピンク色のものを身に着けた（10月30日）。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
--	---

11 月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 ・職員健康診断を実施した。適切に職員の健康管理を行っていることを認める。 ・県等の外部研修に職員が参加し、職員資質向上に努めていると認める。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・自衛消防組織による、ウェルシティ市民プラザの消防訓練に職員が参加した。防災意識を高め、非常時への対応に努めていることを認める。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・後期講座全 25 講座のうち 7 講座を開講し、計 22 講座が開講した。 ・11 月 30 日にビートルズ音楽概論 3 のランチタイム交流会を実施した。市民大学の講座では、受講者同士のつながりづくりも副次的な効果として考えられるが、実際に何らかの形で受講者同士が交流できる機会を設けなければ見ず知らずの人同士が交流することは難しい。「ビートルズ」という共通項を持つ人の集まりであるので、このような機会を設けることは受講者同士の距離を少し縮めるきっかけとなると考える。 【指定管理事業（情報提供・学習相談事業）】 ・情報提供・学習相談事業は滞りなく進められている。 ・まなびかんニュース 12 月号を発行した。 ・展示スペースで、10 月から引き続き、ABC プランがきっかけで発足した「リアル色鉛筆教室」の成果物展示を行った。生涯学習センターで行われている活動が目に見える形で示されるため、多くの人の目に触れてほしいと考える。 ・田浦、久里浜、大津の 3 コミュニティセンターでの文化祭に合わせ、まなびかん周知のためのパネル展示を行った。人出が多い場合は、多くの人の目に触れる機会でもあり、生涯学習に関心のある方であればさらに関心を持っていただける可能性が高いため、引き続き取り組みをお願いしたい。 【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・学習成果地域活用事業は滞りなく進められている。 ・講座企画運営ボランティアとまなびかん職員の共同企画による市民大学特別講座全 3 講座の内容が決まった。地域に関する歴史（三浦按針と家康）と民俗芸能（北下浦の虎踊りと飴屋踊り）を扱った講座各 1、課題対応（シニ
------	---

	アの発達心理学) 1 講座で、民俗芸能は講座テーマでとりあげた虎踊りと館屋踊りの地元である北下浦コミュニティセンターである。ボランティアによるこの活動も複数年継続しており、ミーティングを重ねながら意見を出し合って幅広い講座テーマを検討している。講座を企画し、実際に運営・開講し、振り返りを行って次回講座を企画してくというサイクルが出来上がり、うまく動いているように思えるため、引き続きボランティアのサポートをお願いしたい。 ・Yokosuka まなび情報「スキルアップ講座」として「30 秒 PR 動画作成講座」を登録サークル、登録講師を対象に募集を行っている。活動内容が視覚的に分かるというアピール方法は有効と考えられる。短時間にまとめるのは難しいことでもあるため、この講座を受講してコツをつかんでいただければと考える。 【その他の事業】 ・人権啓発講座「歴史からみる人権」を実施した（11 月 5、13、20 日 生涯学習課共催）。 ・パソコン入門教室「超入門教室」を実施した（11 月 6～8 日）。 ・子ども将棋教室を開催した（11 月 9、23 日）。 ・秋季市民文化祭を開催した（市民書道展ほか 文化振興課委託事業）。 ・市民合唱のつどいを開催した（11 月 2、3 日 文化振興課委託事業）。 【特記事項その他】 ・地域ソン（※地域ソンは、地域の課題解決をテーマに多様な参加者が短期間でアイデアを出し合うというようなもの。〇〇+マラソンの造語で、他にもアイデアソン、ハッカソンなどの語がある）で古民家（ミライエ）に合宿してワークショップを行っている千葉商科大学学生の館内見学受入れを行った（11 月 16 日）。 ・企業・NPO・大学パートナーシップミーティング 2024in 横須賀三浦に運営側の一員として参加した（11 月 30 日）。 ・独立行政法人国立病院機構久里浜医療センターとの地域連携として、入院患者の退院後の生活に学習活動を取り入れるための講義とワークショップを行った（11 月 21 日）。 ・逸見地区地域運営協議会に職員が出席した（11 月 26 日）。 ・逸見小学校 2 年生の「まちたんけん」での図書室来訪に対応した（11 月 26 日）。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記
--	--

	事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
--	--

12 月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 ・事務局長による職員面談を実施した。 ・センター休館日に独自に研修会を実施し、職員の資質向上に努めている。 ・「デジタル活用に向けたオンラインセミナー」に職員が参加した（12 月 13 日）。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・臨時休館日に、施設のメンテナンス及び備品の確認を行った。市民が利用しやすい環境を整えているものと認める（折畳機の注意表示の貼付完了）。 ・利用予定のない学習室を、学校等の冬休み期間に合わせた自習室としての開放を実施中（令和 6 年 12 月 23 日～令和 7 年 1 月 17 日）。施設の有効利用につながることを認める。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・後期講座全 25 講座中の 1 講座が開講し、計 23 講座が開講した。また、前期講座の 2 講座、後期講座の 3 講座が 12 月中に全プログラムを終了した。 ・12 月 23 日に、2 月から 3 月に開講する特別講座 4 講座の募集を開始した。この 4 講座のうち 3 講座は市民が企画運営を手掛けた講座であり、うち北下浦地区の民俗芸能を取り上げる 1 講座は、その地元である北下浦コミュニティセンターを会場としている。また、1 講座はカルチャーコミュニティよこすかとの共催講座で、ヴェルクよこすかを会場としている。市民の力や地域資源をうまく組み合わせて活用した講座であると考える。 ・「三浦一族の歴史を体感！小坪合戦古戦場と衣笠へ」の講座で受講者のランチタイム交流会を実施して振り返りを行った。講座内で作成した「三浦一族ゆかりの地マップ」を館内展示スペースに展示し、学習成果を地域資源である「三浦一族」の魅力の発掘・発信のために活用している。市民大学事業と学習成果地域活用事業にまたがる内容で、指定管理事業の事業間連携により成果を出そうとする試みを評価する。 ・市民大学は工夫を凝らして多くの講座を企画している。その中でも横須賀ならではの特色を出すため、横須賀にまつわる講座テーマの設定や、講師、連携先、協力先に市内の地域資源も活用する工夫と努力を行い、受講者にも郷土である横須賀を意識してもらうことに常に留意していることを評価する。
------	---

	【指定管理事業（情報提供・学習相談事業）】 ・情報提供・学習相談事業は滞りなく進められている。 ・「まなびかんニュース」1月号を発行した（10,000部）。 ・Yokosuka まなび情報登録講師・サークルに関する情報冊子として、2024年度12月版「ミニ瓦版」を作成・配架した。 ・館内展示スペースを利用して作品展示を行った（10月19日～12月21日：リアル色鉛筆教室、12月13日～12月27日：文化財トピックス展、12月26日～未定：市民大学「三浦一族の歴史を体感！小坪合戦古戦場と衣笠へ」学習成果物マップ）。 【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・学習成果地域活用事業は滞りなく進められている。 ・市民ボランティアと生涯学習センター指定管理者職員との共同企画・運営により実施する市民大学特別講座のチラシが完成し、12月23日から募集を開始した。こちらも指定管理事業の学習成果地域活用事業と市民大学事業の2事業にまたがるものである。学習成果を自分だけのものにとどめるのではなく、何らかの形で地域や社会に還元できる仕組みとして評価する。 ・Yokosuka まなび情報登録のサークルと講師を対象とした「スキルアップ講座」の「30秒PR動画作成講座」の応募を締め切った。定員10名に対して18名の応募があった。 【その他の事業】 ・薬膳教室「冬の薬膳講座」を実施した（12月1日 応募者多数のため、定員増と会場変更により対応）。 ・パソコン入門教室を実施した（自主事業 12月10～13日）。 ・人権セミナー「暮らしの中の人権を考える」を実施した（生涯学習課共催事業 12月13日、20日）。 ・秋季市民文化祭を開催した（文化振興課委託事業）。 【特記事項その他】 ・赤い羽根共同募金運動に協力し、受付窓口に募金箱を設置した。 ・市の「ピンクシャツデー」に賛同し、職員が「いじめ反対」の意思表示を表すピンク色のものを身に着けた（12月18日）。 ・逸見小学校2年生の「まちたんけん」での来館に対応した（12月12日）。 ・企業・NPO・大学パートナーシップミーティング2024in横須賀三浦の反省会に職員が出席した（12月19日）。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記
--	---

	事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
--	--

1 月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 ・パートタイム職員の募集を開始した（募集期間は1月20日から2月9日まで）。 ・令和7年度からの新しい公益法人制度、公益信託制度に対応するため、新しい公益法人会計基準：個別相談会に職員がオンライン参加した。 ・神奈川県公民館大会に職員が参加した（1月24日）。 ・社会教育主事講習（オンライン）を職員が受講している（1月25日から2月4日）。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・学校の冬休み期間に合わせて、12月23日～1月17日の期間、当日利用のない学習室を自習室として開放した（利用人数 193人）。 ・2月1日から一般利用を開始する生涯学習システム更改作業のため、パソコン研修室を作業場所として1月20日から31日までの12日間休室とした。大、第1、2、3学習室、パソコン研修室、ミーティングルームではすでにWi-Fiを整備済みであり、今回のシステム更改で導入したパソコンは、上記の室場間であればどこでも使えるようになるため、活用していただきたい。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・1月中に後期講座2講座が全プログラムを終了した。 ・1月中に後期講座のうち1講座が開講し、全25講座中24講座が開講した。 ・市民大学特別講座（単発4講座）の募集定員合計370名に対し、応募が675件あり、定員超過講座については定員増としてできるだけ多くの方を受け入れるよう努めている。 ・例年夏休み期間中にジュニアカレッジを実施しているが、令和7年度は地元企業である日産自動車（株）の協力を得て、4月3日の春休み期間中にも講座を企画している。市内の企業でも地域貢献のためのプログラムを持っているところがあり、親子で参加できる体験学習の機会は家庭教育支援にも資するため、このような積極的・意欲的な地域資源の活用は今後も引き続き行っていただきたい。 【指定管理事業（情報提供・学習相談事業）】 ・情報提供・学習相談事業は滞りなく進められている。
-----	---

	・「まなびかんニュース」2月号を発行した（10,000部）。 【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・学習成果地域活用事業は滞りなく進められている。 ・市民の講座企画運営ボランティアと生涯学習センター指定管理者職員との共同企画である、3月実施の市民大学特別講座3講座の募集を1月27日に締め切った。3講座中2講座は応募が募集定員を超過したため定員増により対応、1講座は追加募集中だが、現時点であと2名で定員に達する。市民ボランティアによる市民大学講座企画・運営も回を重ねてきたが、多くの応募者を集め、コミュニティセンターを会場とした出張講座も企画するなど、企画・運営に関する技量が高まるとともに活動の場も広がっている。適切なサポートにより市民が力をつけてきていると評価したい。 ・Yokosuka まなび情報登録サークル、講師を対象として、30秒のPR動画を作成するスキルアップ講座を実施した（1月11、18、25日）。 【その他の事業】 ・3月9日開催のファミリー・コンサートの先着申込みを開始した（1月14日）。 ・人権セミナー「暮らしの中の人権を考える」第3回を開催した（生涯学習課共催事業 1月17日。第1回、第2回は12月に開催）。 ・カジュアル・コンサートを開催した（文化振興課受託事業 1月19日）。 ・5月23日から27日開催の春季市民文化祭「市民手工芸展」の一般参加作品募集を開始した（文化振興課受託事業 1月29日）。 ・薬膳教室を開催した（1月19日、22日）。 ・文化財講座「浦賀奉行所と与力たち」を開催した（生涯学習課共催事業 1月24日）。 【特記事項その他】 ・市民活動サポートセンター、生涯学習センター、よこすかボランティアセンター、シルバー人材センターからなる4施設会議に職員が参加した（1月21日）。 ・沢山小学校2年生の「まちたんけん」に対応した（1月22日）。 ・逸見地区地域運営協議会に職員が出席した（1月28日）。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
--	--

2月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 ・センター休館日に独自に研修会を行うなど、職員の資質向上に努めている。 ・職員が社会教育主事講習へ参加した（2月4日～13日）。 ・生涯学習センター職員の退職者補充のための新規採用職員の公募選考を実施した。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・臨時休館日に、施設のメンテナンス及び備品の確認を行った。市民が利用しやすい環境を整えているものと認める。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・2月中に前期講座3講座、後期講座6講座の全プログラムを終了した。 ・2月中に後期講座1講座を開講し、予定していた後期講座25講座すべてを開講した。 ・特別講座4講座のうち、2月中に2講座を開講した。 ・令和7年度4月開催の「さきがけ」講座8講座の募集を開始した（2月16日から）。前期の連続講座に関連する内容を前期講座募集期間中に開催し、さきがけ講座内で前期講座のPRも行う。また、そのうちの一部講座は、受講者の反響によっては後期に連続講座を実施することも視野に入れた企画である。 ・第5期指定管理では、受講者数や受講者の講座満足度を高い水準で維持している。様々な工夫を積み重ね、講座テーマも市民ニーズを捉えた適切な設定を行っている結果と考える。 ・4月3日に開催する小学3年生から6年生向けのジュニアカレッジの募集を開始した（2月17日から）。通常ジュニアカレッジは夏休み期間に実施しているが、日産自動車（株）追浜工場の協力を得ることができたため春休みの時期にも開催する。協力先の開拓に努めていることを認める。また、子どもたちが参加しやすい期間を選んだ子ども向け講座は引き続きお願いしたい。 ・昨年度の後期講座「やさしい！楽しい！川柳入門」をステップアップさせた研究コース講座として、今年度「やさしい！楽しい！川柳入門2」を実施した。昨年度は句を作る句会を中心とし、今年度は横須賀市民文化祭「川柳大会」へ参加し、学習成果である句を投句することを促した。受講生のうち
----	--

	14 人が参加し 4 人が佳作を受賞した。講座最終回では「市民大学」をテーマにした句を作り、館内展示スペースに展示した。市民文化祭のように毎年開催されるものがあると、学習成果の発表と併せて学習を継続する動機付けともなるため、このような場と受講者の結びつけは今後も引き続きお願いしたい。 【指定管理事業（情報提供・学習相談事業）】 ・ 情報提供・学習相談事業は滞りなく進められている。 ・ まなびかんニュース 3 月号を発行した（10,500 部）。 ・ 「Yokosuka まなび情報」登録者のうち、地域活動に積極的に協力できる者を抜粋した「地域活動協力可能者リスト」を作成し、市内学校等に配布した。 ・ 2 月 1 日、2 日の北下浦コミュニティセンターでの「北下浦文化まつり」の際に、出張学習相談（2 月 1 日のみ）、まなびかん周知のためのパネル展示（両日）等の情報発信を行った。 【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・ 学習成果地域活用事業は滞りなく進められている。 ・ Yokosuka まなび情報登録サークルと講師を対象としたスキルアップ講座「30 秒 PR 動画作成講座」の成果物である動画を、まなびかんホームページにアップした（2 月 21 日から）。 ・ 館内展示スペースを利用して、市民大学前期講座「やさしい！楽しい！川柳入門 2」の学習成果物である句を展示した。 【その他の事業】 ・ 人権啓発講座「人権セミナー」（2 月 4 日、7 日、13 日）を開催した（生涯学習課共催）。 ・ 「自分のスマホで学ぶスマホ講座」を実施した（2 月 5 日） 【特記事項その他】 ・ 久里浜医療センターとの地域連携として、入院患者への退院後の生活に学習活動を取り入れるための講義を行い、職員が講師を務めた（2 月 20 日 参加者 40 人）。 ・ 職員がピンク色のものを身に着け、「いじめ反対」の意思表示を行うピンクシャツデーの取り組みを行った（2 月 26 日）。 ・ 「生成 AI 活用の第一歩！～業務効率化に向けた活用事例」（オンライン）に職員が参加し情報収集を行った。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記
--	---

	事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
--	---

3月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っているとする。 【執行体制】 ・滞りなく事務を進める体制となっているとする。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められているとする。 ・事務管理に関するセミナー（オンライン）に職員が参加した（3月5日） 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものとする。 ・前期講座2講座、後期講座12講座のプログラムを終了、特別講座2講座を開講し、既に実施済みの講座も含め、予定していた特別講座全4講座の全プログラムを終了し、令和6年度の市民大学講座を閉講した。 ・令和4年度の第5期指定管理開始以来、市民大学講座は様々な工夫を積み重ね、コロナ以前の水準を超える多くの受講者を集めている。市民ニーズに応えるとともに課題解決につながるテーマもとりあげ、1講座当たりの総回数をやや短めに設定する代わりに、講座数そのものを増やして幅広い分野をカバーした。講座テーマの検討、設定から講師選定、交渉などに多くの時間と労力がかかることを厭わず、実績をあげながら継続していることを高く評価したい。 ・令和7年度市民大学さきがけ講座の募集を3月17日に締め切った。全8講座すべての応募が定員を上回ったため、定員増により多くの方を受け入れられるよう調整した（募集総定員960人に対し、応募総数1,580人 164.6%の応募率）。 ・令和7年度ジュニアカレッジ「日産追浜工場調査隊」の募集を3月17日に締め切った。午前の部、午後の部とも定員を上回る応募があった（午前の部 定員親子15組に対し65組、午後の部 定員親子15組に対し36組 受け入れ先の事情で定員増はできず）。 ・令和7年度市民大学前期講座の募集を3月19日に開始した。 【指定管理事業（情報提供・学習相談事業）】 ・情報提供・学習相談事業は滞りなく進められている。 ・まなびかんニュース4月号を発行した（10,500部）。 ・展示スペースで市民大学「やさしい！楽しい！川柳入門2」の学習成果物の展示を行った（2月27日から3月26日まで）。 【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・市民ボランティアとの共同企画運営を行う市民大学特別講座3講座すべてが終了し、受講アンケートを集計して市民ボランティアと共有した。市民ボ
----	--

	ランティアとの共同企画運営講座は次年度も継続する。 ・昨年度の市民ボランティアとの共同企画運営講座「新しい孫育て 他孫（たまご）育て」は、その内容について久里浜地区で反響があり、学習成果が地域に波及していることを共有した。 ・市民ボランティアとの市民大学講座の共同企画・運営は、企画・運営する講座が当初の２講座から３講座に増え、定員も受講者数も当初と比べ増えている。さらに、先の報告にあったように地域での反響も生じるなど、第５期指定管理開始以来継続した蓄積が年々効果を発揮していると考ええる。市民ボランティアに対する適切な支援を継続していることを評価するとともに、今後も長く継続していただきたいと考える。 【その他の事業】 ・１１月から全８回実施の子ども将棋教室が終了した（３月１日）。 ・第５５回ウェルシティ・コンサートを開催した（３月２日）。 ・ファミリーコンサートを開催した（３月９日 文化振興課委託事業）。 ・令和７年度市民手工芸展一般参加募集を締め切った（募集期間１月２９日から３月３１日まで 文化振興課委託事業）。 【特記事項その他】 ・生涯学習財団第３回理事会を開催した（３月２１日）。 ・地域支え合い協議会へ職員が出席した（３月１７日）。 ・市民活動サポートセンター、生涯学習センター、よこすかボランティアセンター、シルバー人材センターの４施設会議に出席した（３月１８日） ・逸見地区地域運営協議会に職員が出席した（３月２５日）。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
--	---